

桁端部側方型充填工法 中井商工

対応遊間・延長を拡大

止水要する多様な現場に対応

中井商工の桁端部の防水工法「桁端部側方型充填工法」が対応できる遊間を最大300mm、施工延長を遊間サイズによって最大10mまで拡大した。狭い桁端遊間内、桁側面から弾性シーリング材「3eシール」を充填し、ポンプ圧送可能な硬化前の高い流動性、橋面上から伝ってくる雨水から支保部を守る工法である。交通規制を身に側方からコンクリートに施工できる。長寿化を背景に、対策が求められるものの施工が困難な箇所を追求する工法として好評で、当初対応遊間50mmから、施工延長最大10mまであったが、現場の要望を受け、実験と実機施工の検証で対応遊間の拡大を實現に導いている。NETIS登録工法で書号はKK-180028-1A。

工法の概要はPCならびにRC橋の桁端部遊間の漏水に対し、遊路橋の側面より施工する。遊路橋の桁端部遊間



3eシール充填設置完了断面。上方の明かりは、夜間施工のため照明として渡したLEDチューブライト。充填物の下にはうっすらとシール材の型枠（漏れ止め）に使ったバルーンが見える

- ① 簡易枠組設置
- ② ガイドワイヤ設置
- ③ 3eシール充填
- ④ 漏れ止め材設置
- ⑤ 埋止め材設置
- ⑥ 養生
- ⑦ 仕上げ
- ⑧ 養生
- ⑨ 養生
- ⑩ 養生

PC・RC橋桁端部の防水工法

桁端部側方型充填工法 専用充填材『3eシール』

NETIS登録:KK-180028-A

コンクリート橋の狭い桁端遊間内に 桁側面から弾性シーリング材を充填!! 橋面上雨水から下部工と支保部を守ります!!

施工箇所はPC・RC橋の狭い桁端部

ホースを用いたポンプ圧送で 橋梁側面からシール充填

中井商工株式会社

本社 〒537-0023 大阪市東成区玉津2丁目1番5号
 営業所 大阪・東京・名古屋・九州
<https://www.nakaishoko.co.jp>

おかげさまで 50周年

2022 夏季特集号